**平成26年8月21日　群馬を元気にする会　8月度　公開ミーティング**

**19:00～　交流・自己紹介**

**ぐんまを元気にする会について**

**19:30～　ぐんぐんまりっじ**

２０１４年　９月１４日（日）　１８：００～２０：３０(受付１7：３０)　 会場　アルバート邸　様　群馬県前橋市川原町2-41-4　 参加対象者男女共に３３才～５５才　 募集定員男女　各２０名　(最小催行　男女各　１０名)　 参加料金・キャンセル料男性7,500円　　女性6,500円　式場の協賛特になく、会場を借り、費用も上がってしまっていますがこれは実験的な開催となっています。対象年齢を上げることで今までなかなかきづらかった３３歳～の女性など、新しい方々の参加を狙っています。参加者が現時点3名なので、残りの集客を当日まで目指す。

**20:00～　交流会企画**

初参加の方も居た中で、先日のビアガーデン交流会：20人弱の集客。二次会もほぼ同じメンバーで開催することが出来た。10月に秋のBBQ大会の開催予定。7月観音山ファミリーパークで開催BBQでは天候不純やスタッフ不足などの経験を踏まえ、早い段階から準備をする。会場も合わせた段取りを詰めていきたい。

**20:10～　温泉プロジェクト**

「情報サイト」をつくる。内容を入れていく。情報を決めたい。ブログマガジン的なもの。

「群馬といえば○○」ご協力頂く方向性を決めて、皆さんに協力をお願い出来るような体制を整える。

**20:20～　学生支援プロジェクト　経営相互支援会**

　先日メンバーで前橋市長山本さんとの話の場を設けた。市長との話の中で、前橋は婚活について、指針として勧める予定は無いとの回答を頂いた。中之条では町の中での婚活について助成制度を出す事を決めている。

　職場体験・職業体験など各市内団体が様々な方法で職業体験・職場体験を開催しているが、情報の集約が出来ておらす、これを一体化、イベント後も一貫して職業支援をサポート出来るような体制が出来る事が望ましい。フューチャーセンター（企業、政府、自治体などの組織が、様々な関係者を幅広く集め相互協力の下で実践するために設けられる施設）などのモデルを作ることも都内では広がっている。学生・子ども達が、群馬県内で「こういった仕事がある」という事が認知される事によって「群馬で働く」事のきっかけ作りが出来、長い目で見た「人口増加活動」として取り組みを行っている。富山県で自治体主導のフューチャーセンター設立の動きが有り、阿部さんがヒアリングを行う。

　6月に行った社会人・学生を含めた超就活セミナー、今度の2回目は学生主体のイベントとして企画を考えていて、学生との打ち合わせを行う予定。1月開催予定。本格的な週力活動のために「トークディスカッション」、「面談」をメインターゲットにしてセミナーを組む。学生と会の実施メンバーとの共同で行う。

　Facebookグループページの活用方法として、そもそも就職活動の支援は、イベント形式で単発で行うモノでは無く、長い目で見て様々な相談を受けられるように、インターネットを活用する。就職のエピソードや相談。気軽に情報交換が出来るようなグループページを目指す。

・経営相互支援会

経営者を集め、「1社支援型」として行って居たが、現在代表を変え、今年度から0ベースから動いている。コンセプト「参加している参加者がみんな仲間として」成功出来るような会を目指す。「自分だけがいい」という考え方では、限定された限りでしか成功しないのではないかという考えの元、会を運営する。参加に必要な条件は

・「熱意」を持っている人

・「最低限の紹介」を設けています。

・起業塾　今更聞けないシリーズ　など。経営者向けの勉強会

・次月までに新規に取り組むべき事、その次月結果報告の場を設ける。

・他機関が行うビジネスプランコンテストに応募する

・勉強会を行う

・今年いっぱいまではクローズ来年度1月からオープンにする。

・会費制　価格未定

**20:50～　地域活性化　会議**

チームターリーや事業プラン、たくあんの製造・販売を通じて　「種」をつなぐ、「世代」をつなぐ「地域」をつなぐ～「理想大根」「プレゼンテーション　勢多農林高等学校　筑井さん」現在まだ企画段階、販売方法、パッケージ、行政との連携など展開方法のアドバイスを頂きたい。・食育　・塩分　・賞味期限　・携帯お菓子　・六次産業化　・限定した品質管理。

・伝統やプレミアと言った部分を重点に置くのであれば他の部分はあまり売り出す必要が無いのでは無いか

・ぬれていたりすると食べずらいかもしれない。

・食育の部分では食べ方のバリエーションを多面的な展開をするよりいいのではないか。

・商標登録もしたほうがいいかもしれない

・コンセプトとして学生と交流するプロセスが大事なのでは無いか。

・地域活性について

　この会議の場所から元気にしていこう。

　前橋のちいきづくり協議会では様々な活動を行っている。

　まずはコミュニケーションから